

東又小学校

# 学校だより

令和2年10月30日(金)

No. 48

東又小 校長 中越あかね

Tel : 0880-24-0006

## 授業作り講座Ⅱ 授業研究会 頑張ったよ

今年は東又小学校は、「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクトの、『高知の授業づくり講座』の指定を受けて様々な取組を進めています。この講座では、子どもたちがこれからの時代に求められる資質・能力を身に付け、学習内容を人生や社会の在り方と結びつけて深く理解し、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が求められています。本校では、話し合い活動を通して、子どもたちにこのような力をつけていこうと考え、今年の研究テーマとし、取組を進めています。

中部教育事務所管内では、拠点校は、本校を含めて小学校が2校、中学校が1校です。

28日には、3年生が国語の授業を公開し、県内の先生方や県の教育委員会や中部教育事務所の先生方に来て頂きました。講師の元鎌倉女子大学准教授の松永立志先生とは、コロナ感染症対策として、リモートで繋がり、子どもたちの授業での様子を見て頂いての指導を受けました。

『サーカスのライオン』という国語の教材を元に、並行読書で一人一人が選んだ本を元に、中心人物の心の変化とその理由について場面を結び付けて伝え合おうとしている姿や、自分と友達の同じところや違うところを比べながら交流している姿を見て、参観者からもたくさんの感想を頂きました。本校では、物語の学習で全文シートを使うことで、心の変化を見取りやすくしたり、どこの場面でそれが分かるか分かりやすくして、話し合いをするときに理解しやすくしています。今後も、このように授業の中で子どもたちが生き生きと交流し、意見を出し合える授業を目指して頑張っていきたいと考えています。



友だちと意見を交流しています。





たくさんの先生方に囲まれながらも、堂々と友達と交流することができましたよ。

みんな、よく頑張りました。

あっちからも、こっちからも撮影されて。でも子どもたちは余裕です。



授業を見ての感想を付箋に。

松永先生はリモートで参加を。

参加者はグループに分かれて話し合いをしています。

## 標本木の計測体験 6年生

10月26日に、朝霧森林倶楽部の浜田さんと梶田さんに来て頂き、6年生が標本木の計測体験をしました。分度器を使って、樹齢40年～50年ほどのヒノキの高さを測りました。グループに分かれて同じ木を測りましたが、角度が1度違うだけで、木の高さに2～3mの誤差が生じるようで、なかなか難しかったようですが、算数で勉強したことが生活の中で役立つということが分かったことも、勉強になりました。



算数の勉強が役に立ったね。

## 学校林へ行く道が大変なことに！！

以前の大雨の後、学校林に行く道が掘れこんで大変なことになっているようです。子どもたちの活動のために、朝霧森林倶楽部の方が作業の道具を運んだり、ツリークライミングの講師の方がクライミングに必要な道具を運ぶためのトラックを上げるのも大変になっているようです。役場の方にもお願いはしていますが、子どもたちの活動のために、今年も一度、作業をしておいた方がよいようですので、11月のPTA役員会で作業のお願いをしたいと思います。参加をよろしくお願いします。